

令和7年度 第4学年 授業改善推進プラン

台東区立蔵前小学校

1. 児童の学習状況

国語	○記述内容を読み取る力は、多くの児童に定着している。 ○段落ごとに書かれた内容の大まかな理解を捉えることができている。 △自分の考えやその根拠を文章で書いて答えることが全体的に苦手である。 △主語と述語を理解できていない。特に修飾語に「は」「が」がつくと、主語だと誤って考えている。
算数	○数学的な考え方や知識・理解について、多くの児童が定着している。 ○グラフからの読み取り及び比較して何倍かを問う問題について、学習の理解が定着している。 △小数の仕組みや相対的な大きさを苦手とする児童が多い。 △かけ算の立式を苦手とする児童が多い。
社会	○東京都の特色や自分たちの生活をささえる社会の仕組みに興味をもつ児童が多い。 ○「まとめ」や「いかす」の時間では、意欲的に活動に取り組み自分の考えを書けている児童が多い。 △資料の読み取りや情報同士を結び付けることが難しい児童がいる。 △東京都の市区町村名や都道府県名、その名称と場所を正確に覚えられている児童が少ない。
理科	○実験に興味をもち、身近な出来事から予想し、仮説を立てられる児童が多い。 ○植物の成長で学んだことを生かして、その他の生物の成長を捉える児童が多い。 △結果から自分の考えを文章で表し、予想と比べて考察を書く力が弱い。 △自分から観察の視点を設定して、観察に取り組む児童が少ない。

2. 各教科の具体的な取組

	特に育成を目指す能力	取組
国語	・主語と述語、修飾語を正しく理解して書く力	・毎時間、文で表現する機会を増やす。 ・教科書の文章の中で、主語の省略形や倒置法等がある場合には、主語と述語を確認する。
算数	・小数、分数の相対的な大きさや簡単な計算 ・問題の意図を理解し、立式できる力	・ICT 機器等を生かした授業を行う。 ・何を問っているのか確認し、それを解くために必要な情報を選択し、立式できるようにする。
社会	・東京都の特色や社会の仕組み、状況などを説明できる力 ・東京都における社会的事象の相互の関連や社会との関わりについて判断し、考えて表現する力	・教科書や学習プリントから調べる過程で学習に必要な資料を確認したり、語句を指定したりして説明できるようにする。 ・都道府県名と場所を社会的事象と関連付けて捉えられる活動を継続的に行う。
理科	・自分の考えを文章にまとめる力 ・自然の事象の変化に気付く力	・考えの道筋となる言葉を提示し、選択して理由を書く指導を行う。そこから共通点や相違点など理科で使う言葉への変換を行う。 ・観察の際に何のために行っているのかを明確にし、気付きを拾い、変化に注目できるようにする。変化に注目する視点を養う。

